備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成24年度事業）

事業の概要

事業開始年度		昭和１７年～	根拠法令・例規等		
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合先 担当課（室） 市民課
	中項目	基本施策	04	安全で安心に暮らせるまちづくり	職・氏名 生活安全係長　新庄　敏彦
	小項目	施　策	01	交通安全意識の高揚	電　話 0869-64-1876
事務事業名			03	交通安全施設整備事業	このシート作成に要した時間 2.0 時間

Plan

事業の目的

対　象（誰・何に対して）	規制標識、信号機等の設置を要望する地区
目　的（何のために）	警察署へ規制標識、信号機等の設置要望のため
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	早期に規制標識、信号機等の設置

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
警察要望書提出事業	地区から交通安全施設の規制標識、信号機設置等の要望に基づき、事前に警察署に協議し、早期に設置または改善されるよう要望書を提出している。	○

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
決算額 事業費	直接事業費	千円	0	0	0
	必要人員 人件費		0.01人 111	0.01人 111	0.00人 0
	事業費計		111	111	0
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他（　）				
	一般財源		111	111	
受益者負担比率		%	－	－	－

結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	要望書提出件数	説明	地区からの要望を協議し、警察署等に要望書を提出		
	結果指標量	件数	8	8	1
	対前年比	%	－	100.0%	12.5%
	活動コスト	円	111,000	101,000	0
	単位当たりコスト		13,875	12,625	0

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率

事業の成果

成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
設置要望書提出率	目標値（A）	100	100	100	100
	実績値（B）	100	100	100	到達目標値
	達成率（B/A）	100.00%	100.00%	100.00%	年度内で対応

成果指標設定の考え方・式や説明

（地区の要望件数 1件／要望書提出件数 1件）×１００

Check

事務事業の評価

５段階評価（A～E）のランク基準　A：高い　B：やや高い　C：普通　D：やや低い　E：低い

妥当性の評価（市の関与の妥当性 必要性 ／ 市民ニーズ）

- ☐ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ☑ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ☑ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
- ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ☐ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- ☐ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価 <A～E>：**B**

効率性の評価（コスト 手段）

- ☐ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ☑ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- ☐ 受益者負担率は適正である
- ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
- ☑ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ☐ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価 <A～E>：**A**

有効性の評価（目的達成度 市民参画度）

- ☑ 成果指標の設定は適切である
- ☐ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ☐ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている
- ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- ☑ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- ☐ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- ☐ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価 <A～E>：**A**

進行年度（H24年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

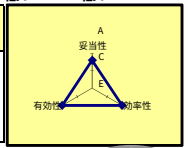
説明：地区からの要望を受け、現地確認・関係部署との連絡調整を行い、警察署へ要望している。

総合評価

５段階評価（A～E）のランク基準　A：高い　B：やや高い　C：普通　D：やや低い　E：低い

各地区からの要望については、現地の状況を確認し、必要性を十分協議・検討した上で、提出するよう努める。

評価区分 <A～E>：**A**



Action

平成25年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：引き続き、現地の状況を確認し、要望内容を十分協議・検討した上で、提出するよう努める。